



令和5年度教育センターだより

第3号

かしの木

川越市立教育センター

TEL 235-7591

FAX 230-1023 ©川越市 2010



令和5年度の経験者研修が終了しました

桜の花が咲き始める季節となりました。教育センターでは、各経験者研修の閉講式が行われました。1年を通して研修に励み、閉講式を終えて教育者としての使命感や責任感を一層強く持った研修生の姿が印象的でした。研修生におかれましては、研修で身に付けた知識・技能等を各学校で発揮され、今後も本市の子どもたちのために、活躍されることを期待しております。

初任者研修第14回機関研修及び閉講式

1月31日(水)に川越市立教育センターで第14回機関研修及び閉講式を開催しました。

第14回では、「これからの教師に期待すること」について学校教育部長からの講話を行いました。研修生は、期待される教師像について再認識するとともに、1年間の研修で培った実践的指導力と教師としての使命感を改めて自覚し、次年度への意欲につなげていました。



<研修生の感想より>

○1年間の勤務を終える中で、教師としての使命感を実感しています。年度当初と比較しての成長を感じることができ、やりがいとともに、責任も感じました。今年度は多くの失敗もしてしまい、児童に迷惑をかけてしまうこともありました。そのような中でも、児童はついてきてくれて、ありがたい反面、児童への影響力の強さも痛感しました。次年度は、法定研修はないですが、積極的に、自身の力を高めていこうと思います。

○今年度は、子どもたちと多く関わることを優先して仕事を行い、その結果、子どもたちのよさに気づき、ほめることや話す機会が増え、信頼関係が段々と深まっていくのが実感できました。今年度は先輩方に支えられてばかりだったので、次年度からは自分も支えられる人になれるように頑張りたいと思いました。授業も学級経営もまだできていないことがたくさんあるので、学び続けることを忘れずに、自身の指導力を向上させられるようにしたいです。

指導力スキルアップ研修学校研修成果発表会

2月6日(火)、2月7日(水)に指導力スキルアップ研修の学校研修成果発表会が行われました。降雪により、オンラインでの実施となりましたが、1年間の授業実践や研究の発表を聞き合い、よりよい授業にするための具体的な方策を考えることができました。

<研修生の感想>

○今回のスキルアップ研修を通して、授業で大切にしたい視点について学びました。児童の姿や考えを承認して、教師がファシリテーターとして繋いでいく中で、学習を深めていくことが、どの教科でも大切であると感じました。また、質疑応答で、日頃の授業での悩みについて共有し、様々な発達に応じた支援の仕方について話し合ったことで知見が広がりました。

5年経験者研修第4回共通研修及び閉講式

1月30日(火)に川越市立教育センターで第4回共通研修及び閉講式を開催しました。第4回では、「学校における人権教育」について教育センター講師から、「学び続ける教育の専門家として」について学校教育部長からの講話を行いました。研修生は、これまでの教員生活を振り返り、教育の専門家としてこれからどうあるべきかを深く考えることができました。

<研修生の感想より>

○5年経験者というキャリア段階において、どんな視点を持ってこれから活動していくべきなのか、考えさせられました。異動が近くなった年数になり、2校目の自分の目標を明確に立てて、成長していきたいです。また、自分を育てるという視点を持ち、基本を大切に、新しい事にも挑戦していきたいです。また、自分の行動に責任を持ち、事故や不祥事を起こさない信頼される教員になれるよう、自己研鑽に励みたいです。

中堅教諭等資質向上研修 第7回教育センター研修及び閉講式

1月17日(水)に川越市立教育センターで第7回教育センター研修及び閉講式を開催しました。学校における人権教育について学び、小学校、中学校の代表教諭による特定課題研究発表を行いました。研修生は、中堅教諭等としての自覚を一層強く持つとともに、教育の専門家として、成長し続ける大切さについて考えることができました。

<研修生の感想より>

○実践発表を通して、児童が自分事として考える場面がいかに必要か考えることができました。学級経営のみならず授業の内容の質や新しい技法も積極的に取り入れ、児童が学びに主体的に向かうこと、知識や技能の習得の次の段階である、考えを深め、より適切なものを選ぶ状況を設定していくことが今後より重要になると改めて実感しました。